

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
(兵庫県民会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長
https://hyogo-arts.or.jp



SNSやっています!

Facebook



X (旧 Twitter)



YouTube



Instagram



2023年
9月号
435号



題字：井茂圭洞 (書家・文化功労者)

第29回 兵庫ふれあい美術展 作品を募集

神戸・豊岡・丹波・加東・たつの・姫路・淡路の7会場で作品受付!!

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真及び鈴懸の径絵画(「花」と「兵庫の風物」をテーマとした日本画・洋画の小品)を公募する作品展です。
満15歳以上で、兵庫県内に在住・在勤・在学する方、県内の美術等教室に通われている方は奮ってご応募ください。



優秀作品には、兵庫県知事賞ほか多数の賞が贈られます。応募作品は、原田の森ギャラリー大展示室に展示されます。

【応募締切】10月31日(火)

【会期】12月22日(金)~24日(日) 10時~17時(最終日は15時まで)

【問い合わせ】当協会文化振興部「ふれあい美術展」係 ☎078-321-2002



詳しくはこちら

Table with 2 columns: 搬入場所 (Venue) and 搬入日 (Date/Time). Includes venues like 嬉野台生涯教育センター, 西播磨文化会館, etc.



兵庫県文化賞受賞者小品展

【会期・場所】※開催時間は基本10時~17時
9月28日(木)~10月1日(日)/兵庫県民会館
10月20日(金)~22日(日)/但馬文教府
10月25日(水)~28日(土)/兵庫県いなみ野学園 ※初日は13時から、最終日は15時まで
11月2日(木)~5日(日)/丹波の森公苑 ※初日は13時から、最終日は15時まで
11月8日(水)~11日(土)/淡路文化会館 ※初日は13時から



詳しくはこちら

兵庫県文化賞の受賞者で設立された「兵庫県文化賞受賞者懇話会」が主催する作品展が、今年も開催されます。県最高位の賞で顕彰された芸術家、文化功労者による日本画、洋画、書、工芸などの作品が展示されます。

展示される約30点の作品は入札方式で購入ができ、収益の一部は芸術文化の振興と普及活動を支援するために寄付されます。入場は無料です。

県内5地域を巡回

NHK「プラタモリ」に出演

ふるさとウォーク 谷口義子先生と歩く ~旧枝川筋から甲子園開発をたどる~

参加者募集 締切 9月29日(金)

武庫川支流の旧枝川は大正時代に埋め立てられ、郊外住宅地や甲子園球場の建設用地となりました。今回は、阪神間モダニズムの名残を色濃く残す松山大学温山記念会館(旧新田邸)を見学するとともに、甲子園開発の足跡をたどります。



松山大学温山記念会館



【講師】谷口義子
神戸学院大学非常勤講師。NHK 神戸放送局「新兵庫史を歩く」の調査・台本制作、NHK連続テレビ小説『べっぴんさん』風俗考証などを担当。2017年にNHK 総合「プラタモリ」神戸編に出演。

【日程】11月16日(木) 【集合場所】JR 甲子園口駅に10時集合
【コース】JR 甲子園口駅→松山大学温山記念会館(旧新田邸・見学)→旧枝川取水口→旧枝川筋→北郷公園(義民碑)→甲子園球場→阪神甲子園駅現地解散(行程は約3.5キロで所要時間は約2時間半)
【参加費】一般3,000円、友の会会員2,000円
【定員】20名※応募者多数の場合は抽選。歩きやすい靴、服装でご参加ください。



【申し込み方法】④往復ハガキ、③FAX、②メールのいずれか
①催し名②参加人数(2名まで)③申込者全員の氏名、ふりがな、生年月日、住所、携帯電話番号④友の会の方は会員番号を明記して、兵庫県芸術文化協会(〒650-0011神戸市中央区下山手通4-16-3、☎078-321-2139、©sinkoubu@hyogo-arts.or.jp)へ。
【締切(④③②共通)】9月29日(金)必着

出品予定者 (五十音順)

- 天野富美男(洋画) 片岡真太郎(洋画) 中辻悦子(絵画)
井茂圭洞(書道) 河口龍夫(現代美術) 中西省伍(服飾デザイン)
石阪春生(洋画) 黒田賢一(書道) 中西勝(洋画)
市野元和(陶芸) 菅野清峯(書道) 西田真人(日本画)
伊藤一翔(書道) 高崎研一郎(洋画) 西端正(陶芸)
牛丸好一(書道) 田島征彦(絵画) 松谷武判(現代美術)
大上巧(陶芸) 田中徹夫(書道) 山田美耶子(日本画)
岡田淳(文学) 谷川浩司(将棋) 山根互清(書道)
小倉健(陶芸) 坪内稔典(俳句) 山本和子(染織工芸)
納健(彫刻・洋画) 友定聖雄(工芸) 吉田泰巳(華道)

新進芸術家に発表の場を! 兵庫県民会館けんみんホールで開催!

新進芸術家育成プロジェクト
・リサイタルシリーズ

9月 Vol.61 河本祥太郎
チェンバロ・リサイタル



河本 祥太郎

【日時】令和5年9月15日(金) 19時
【出演】チェンバロ/河本 祥太郎
【予定曲目】ルイ・マルジャン/クラヴサン曲集第1巻
ジャン=バティスト・リュリ/抒情悲劇《カドミュス》より序曲、フランソワ・クープラン/第8オールドルほか
【入場料】一般3000円、学生2000円(全席自由)
*いけばな/佐伯一甫(未生流(庵家))



催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607



2023年 デザイン:横尾忠則

Yokoo in Wonderland —横尾忠則の不思議の国

横尾作品のなかの「不思議」に着目し、ルイス・キャロル作の「不思議の国のアリス」になぞらえて紹介する展覧会です。

「不思議の国」「鏡の国」「夢の国」の3章からなる構成で、横尾氏の夢をもとに描いた「夢枕」シリーズなどを展示して異世界に誘います。

【会期】 9月16日(土)~12月24日(日) 10時~18時(入館は17時30分まで)
※休館日 月曜日。ただし9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、9月19日(火)、10月10日(火)は休館

【観覧料】 一般700円、大学生550円、70歳以上350円、高校生以下は無料
【友の会割引あり】



《脈絡》1987年 兵庫県立美術館蔵

兵庫県民アートギャラリー ☎078-321-2131 ※入場無料



- 第38回 日本の海洋画展〈2階〉 絵画約100点 ~9月3日(日)
- 神戸大学美術部凌美会「夏展」〈2階〉 洋画約20点 ~9月3日(日)
- 第26回 游神会書展〈1階〉 書約25点 9月1日(金)~9月3日(日)
- 第58回 神戸市高齢者美術作品展〈2階〉 9月7日(土)~9月11日(月)
- 日本画・洋画・書・陶芸・写真約100点
- 第55回 甲墨会展〈1階〉 書約26点 9月11日(月)~9月13日(水)
- 【公募】彩華国際水墨画・墨彩画展2023〈2階〉 9月14日(木)~9月17日(日)
- 水墨画・墨彩画約100点
- 第50回 表装美術展〈2階〉 表装作品約100点 9月23日(土)~9月24日(日)
- 人と海のフォトコンテスト 第34回マリナーズ・アイ展〈2階〉
- 写真約120点 9月25日(月)~10月1日(日)
- 2023兵庫県文化賞受賞者小品展〈1階〉 9月28日(土)~10月1日(日)
- 日本画・洋画・書・工芸等の小作品約30点

ひょうごアーティストサロン ☎078-321-2005 ※入場無料



- 兵庫県民会館ロビーコンサート〈1階ロビー〉 9月9日(土)14:00~14:30
- 兵庫県立西宮高等学校音楽科40期生によるアンサンブルコンサート
- 兵庫県美術家同盟新進作家選抜展〈1階サロン内〉 ~9月30日(土)
- 兵庫県美術家同盟会員9人による作品9点 ※日・水・第2月はお休み

原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※一部有料



- 第四回現在美術絶体/ZETTAI展〈本館1階〉 平面・立体約60点 ~9月3日(日)
- 葦の会展〈東館2階〉 油彩・アクリル約60点 ~9月3日(日)
- 薫風会 仏像彫刻作品展〈東館1階〉 仏像彫刻約100点 ~9月3日(日)
- 第56回同郷会書道展〈本館2階〉 書約800点 9月1日(金)~9月3日(日)
- 北村 行敏 展〈本館1階〉 油彩約100点 9月5日(火)~9月10日(日)
- 第50回在日朝鮮学生美術展覧会神戸展〈本館2階〉 9月6日(水)~9月10日(日)
- 総合約1,300点
- 2023 神戸新世紀小品展〈東館1階〉 油彩・水彩・アクリル約70点 9月6日(水)~9月10日(日)
- 4カ国写真クラブ合同展2023〈東館2階〉 写真約85点 9月6日(水)~9月10日(日)
- 第40回国画会神戸作家展〈本館1階〉 油彩・アクリル・版画約40点 9月12日(火)~9月17日(日)
- 関西春陽会 版画2023〈東館1階〉 版画約50点 9月12日(火)~9月17日(日)
- PHOTOREFLECTIONS "Ballet Faces"〈東館2階〉 9月13日(水)~9月17日(日)
- 写真約40点 入場料1,500円 ※シニア・12歳までのお子様: 800円
- 第7回こうべ障がい者 芸術フェスタ HUG+ 展2023〈本館2階〉
- 総合約470点 9月16日(土)~9月23日(土・祝)
- ※9月19日(火)休館
- 関西春陽会 絵画部展2023〈本館1階〉 油彩・アクリル約40点 9月20日(水)~9月24日(日)
- 2023年 第3回公募 maru arts 展〈東館1・2階〉 9月20日(水)~9月24日(日)
- 油彩・水彩・アクリル・デザイン・立体他約150点
- 第36回日本の自然を描く展 西日本展〈本館2階〉 9月27日(水)~10月1日(日)
- 油彩・日本画・水墨画・水彩画・アクリル約500点 入場料500円
- 🎁 10組20人にチケットプレゼント。締切9月12日(火)必着
- 染織工房47周年「夢織りびとの世界」展〈東館1・2階〉 9月27日(水)~10月1日(日)
- 工芸約120点
- 第15回游藝展〈本館1階〉 書約400点 9月29日(金)~10月1日(日)
- かがやき神戸 ひだまりレインボー展覧会〈障害者アートギャラリー〉
- 書・絵画・絵手紙・立体約20点 ~9月29日(金)

兵庫陶芸美術館 ☎079-597-3961



- 日本工芸会陶芸部会50周年記念展「未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ」
- 9月9日(土)~11月26日(日)
- 人間国宝を中心に、各分野の伝統工芸作家や技術者らで組織された「日本工芸会」。
- 陶芸部会所属作家を中心に、歴代の人間国宝の作品をはじめ、未来を担う若手作家らの作品ほか名品139点を展覧、伝統工芸の技と美を紹介。
- ※入場料1200円ほか【友の会割引あり】
- 🎁 5組10人にチケットプレゼント。締切9月12日(火)必着

兵庫県立美術館 ☎078-262-1011



- 特別展「Perfume COSTUME MUSEUM」 9月9日(土)~11月26日(日)
- 世界を舞台に第一線で活躍する3人組ユニット Perfume のメジャーデビュー以降の衣装を時系列でたどり、3人が本展のために選んだ衣装も展示。型紙など制作資料も初公開。
- ※入場料1800円ほか【友の会割引あり】
- 🎁 2組4人にチケットプレゼント。締切9月12日(火)必着

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2023 ~シューベルトがつなぐウィーンと丹波~



シューベルティアードとは、シューベルトが仲の良い友だちを呼んで自宅のサロンで楽しんだコンサートのことです。ここでは、多数開催されるコンサートの中からオープニング・サロンコンサートをご紹介します。自然豊かな丹波で、仲の良い友だちと音楽を楽しむように、コンサートを楽しみませんか？

●オープニング・サロンコンサート「ゼロ弾きのフランツ」

【日時】 9月9日(土) ①12時半/②15時 **【場所】** お菓子の里丹波ミオール館

【出演】 細谷公三香 (チェロ)、稲本渡 (クラリネット)、山中歩夢 (ピアノ)、畑儀文 (テノール)

【入場料】 2500円 (前売り)、3000円 (当日)

【お問合せ】 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会事務局 ☎0795-72-5170

豊岡演劇祭2023



豊岡演劇祭は、2020年、演劇やダンスを中心とした舞台芸術フェスティバルとして始まりました。国内外から招聘される公式プログラム、公募で選ばれたフリンジプログラムなど、プログラムの多様さが魅力です。劇場だけでなく、温泉街、海岸、高原、キャンプサイト、神社の境内に設けられた木造の農村舞台など、豊岡市をはじめとする9エリアでさまざまな景観が舞台になります。9月14日(水)~24日(日)。

ここでは、フェスティバルディレクターの平田オリザと世界的バイオリニストの庄司紗矢香とモディリアーニ弦楽四重奏団、イギリスのスターピアニストベンジャミン・グローヴナーのコラボレーション・リサイタルをご紹介します。希少な演出をお楽しみください。

●庄司紗矢香「音楽と言葉の旅「ふるさと」」

【日時】 9月16日(土) 14時 **【場所】** 豊岡市民会館 文化ホール

【出演】 演奏: 庄司紗矢香 (ヴァイオリン)、モディリアーニ弦楽四重奏団、ベンジャミン・グローヴナー (ピアノ)、俳優: 渡辺香奈、井上三奈子、大竹直 (以上、青年団)、作・演出: 平田オリザ

【入場料】 前売一般・S席: ¥4,500ほか。高校生以下: 無料 (当日要証明書掲示) 全席指定

【お問合せ】 フェスティバルセンター ☎0796-34-9525

ル・ポン国際音楽祭2023 赤穂・姫路



ル・ポン (le pone) とはフランス語で「架け橋」の意味。音楽監督: 榎本大進氏の「音楽を架け橋に、人と人とのきずなを大切に、平和で幸せな世界を作りたい」という思いを受け、2007年より「一流の演奏家による室内楽を市民が気軽に楽しみ、奏者と聴衆の距離の近い音楽祭」を目指して開催されています。関連の無料コンサートも開催。これを機に世界的演奏家の演奏を楽しみませんか？

【日程】 9月30日(土)~10月7日(日)

【場所】 赤穂城跡特設会場、赤穂化成ハーモニーホール、アクリエひめじ大ホールほか

【出演】 榎本大進ほか多数

【入場料】 全席1公演あたり1000円

【お問合せ】 ル・ポン2023事務局 赤穂市企画政策課 ☎0791-43-6867/ 姫路市文化国際課 ☎079-221-2098

プレゼントの応募について

①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・感想を明記し、ハガキか FAX で送付。

*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940



<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証)
アクセス▶ JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分 ■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分

シアタースタート くわえぱべっとステージ 「ぷっかり ぽっかり」

0歳から3歳までのお子さんと、その保護者のために、はじめての劇場体験「シアタースタート」。今回は、小さな子どもたちのための人形劇3作品(上演時間30分)を上演。
【日時】9月15日(金) ①10時 ②11時30分
【場所】ピッコロシアター 中ホール
【入場料】子ども 500円
その保護者 500円
子どもを伴わない大人のみ 1,000円
※対象年齢 0~3歳
※各回先着60名



兵庫県立ピッコロ劇団第77回公演 「スターマン」

ピッコロ劇団代表で日本を代表する劇作家・演出家岩松了の1991年の名作が、よみがえる。
【ものがたり】傷をかかえた兄(三坂賢二郎)と妹(有川理沙)が同居する部屋
兄は妹のこれからを案じて部下の小野寺(谷口遼)を自宅に呼ぶが、同じ時、妹の同級生だったという岸川(鈴木あぐり)が訪ねてきていて…。
【日時】9月30日(土)17時、10月1日(日)11時・16時、3日(火)19時、4日(水)19時、5日(木)14時 *3日休演
*各回、岩松了によるアフタートークまたはご来場者限定の動画配信あり。
【場所】ピッコロシアター 大ホール 【入場料】一般3,500円 大学・専門学校生2,500円 高校生以下2,000円
【作・演出】岩松了(ピッコロ劇団代表)



岩松了



三坂賢二郎



有川理沙

ピッコロシアター文化セミナーラボ〈4〉 ワークショップ「直観読みブックマーカー〜岩松了編〜」

“問い”に対する答えを、選んだ本の中から“直観”で選び、その場に出逢った言葉によって、本の葉(ブックマーク)を作る直観読みブックマーカー。今回は、ピッコロシアター資料室が所蔵する岩松了(ピッコロ劇団代表)の戯曲を使い、岩松ワールドを直観読みします。
【日時】10月3日(火)16時30分~18時 【場所】ピッコロシアター 閲覧室
【料金】無料(要申込・先着20名) 【講師】陸奥賢(コモンズ・デザイナー)



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時~17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

アクセス▶ 阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)
■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

春風亭昇太 独演会

新作落語の創作活動に加え、昇太独自の解釈で古典落語に取り組み、文化庁芸術祭大賞を受賞するなど、新作、古典問わず高い評価を得ている実力派。



春風亭昇太

2016年日本テレビ系長寿番組「笑点」の司会に抜擢、2019年からは落語芸術協会の会長に就任するなど、落語界でいっそう存在感を増す春風亭昇太。

軽妙な語り口で、日常のかすかな心の動きを爆笑に変える“昇太落語”をたっぷりとお楽しみください!

【出演】春風亭昇太
【日時】10月6日(金)14時
【場所】阪急 中ホール (芸術文化センター)
【入場料】全席指定 4,000円

古楽の愉しみ

鈴木優人& BCJ(バッハ・コレギウム・ジャパン)の歌劇「ジュリオ・チェーザレ」

「バロック・オペラ・エボリューション2023」と題し、古楽ほかマルチな活躍で常に注目される鈴木優人がヘンデルの最高傑作を指揮!ローマの英雄ジュリアス・シーザーがエジプトを舞台に美貌の女王クレオパトラと繰り広げるドラマティックなオペラを、スター・カウンターテナーのティム・ミードや日本を代表するディーヴァ森麻季ら至高の歌手、アンサンブルと共にセミ・ステージ形式でお贈りします。

【指揮】鈴木優人
【演出】佐藤美晴
【出演】ティム・ミード、森麻季、アレクサンダー・チャンス、大西宇宙、藤木大地、マリアンネ・ベアーテ・キーラント、加藤宏隆、松井亜希

【管弦楽】バッハ・コレギウム・ジャパン
【演目】G.F.ヘンデル: 歌劇「エジプトのジュリオ・チェーザレ」
(全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/セミ・ステージ形式)

【日時】10月7日(土)15時
【場所】KOBELCO 大ホール (芸術文化センター)
【入場料】A席9,000円、B席7,000円、C席5,000円、D席3,000円、E席2,000円



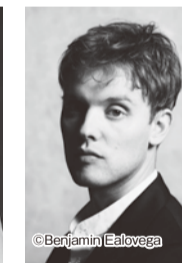
鈴木優人



ティム・ミード



森麻季



アレクサンダー・チャンス



大西宇宙

野村万作・萬斎狂言公演〜狂言三代〜

まもなく舞台生活90年を迎える人間国宝・野村万作、映像・舞台と幅広く活躍する萬斎、そして昨年芸術文化センター初登場となった裕基。今年も親子三代揃って、室町時代から続く「笑い」の芸術をお届けします。野村萬斎による解説付きで、どなたにも気軽にお楽しみいただけます。秋の昼下がり、劇場でゆとりと楽しいひと時を過ごしませんか。

【出演】野村万作、野村萬斎、野村裕基ほか
【日時】10月19日(木)、20日(金) 各日14時
【演目】「文山賊」、「伊文字」、「仁王」
【場所】阪急 中ホール (芸術文化センター)
【入場料】A席6,000円、B席4,000円



野村万作



野村萬斎

チケットを
購入されるお客様へ

※未就学児童はご入場いただけません。
※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。
※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

『笑』をテーマとした

'23 第57回 名筆研究会展

■会期 10月4日(水)~10月8日(日) 午前10時~午後6時 (最終日は午後5時まで)

■会場 兵庫県民アートギャラリー2階 大展示室

主催 名筆研究会

後援 (公財)兵庫県芸術文化協会・神戸新聞社・サンテレビジョン

連絡先 〒670-0048 姫路市船橋町5-1 クリーンピア船橋町505 井元祥山方 ☎(079)292-1263

アートでめぐるひょうごの五国

アート de 元気ネットワークひょうご

第29回公募展木彫フォークアートおおや「ふるさとの命の姿」



フォークは、フォークソング(民謡)やフォークロア(民俗学)のように用いられます。「木彫フォークアートおおや」のフォークアートは、私たちの生活に身近で親しみやすいアートです。日本文化の原点ともいえる木を素材とし、温もりや安らぎを与えてくれる、木彫フォークアート作品を公募。全ての応募作品を展示します。優秀作品には、グランプリ(文部大臣賞)、養父市ふるさと賞(兵庫県知事賞)、山田洋次記念賞などが贈られます。ユニークで多彩な作品を楽しみませんか？

【日程】9月15日(金)～10月1日(日)9時～17時
(最終日は16:30閉館)

【場所】養父市立おおやホール

【問い合わせ】木彫フォークアートおおや事務局
☎079-669-0120



第28回グランプリ作品
「愚かなり人間」前田忠一

兵庫の五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)で開催される芸術祭のうち、今回は但馬と丹波で開催の2つをご紹介します。

妻入商家クラフト「いらか」2023



2015年、篠山市(現、丹波篠山市)がクラフト&フォークアート分野で、ユネスコ創造都市ネットワークに加盟したことをうけて「篠山未来」をテーマに、工芸・美術・食文化など地元作家の展示会を中心とした新しいお祭りです。河原町妻入商家群を中心に展開し、篠山のさまざまなモノ造りの現在を楽しめます。会期中は各店舗にて展示会や催事を、また、篠山にアトリエを構える美術・工芸作家による特別企画展を開催しています。週末(金・土)は「夕暮れ散歩」として19時まで公開します。

【日程】9月15日(金)～10月9日(月・祝)10時30分～17時

【場所】丹波篠山市『河原町妻入商家群』

【問い合わせ】篠山まちなみ未来展運営委員会
☎079-552-2524



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 震災の教訓を体験 災害の備えを学ぶ

1995年の阪神・淡路大震災後に、神戸市の東部新都心として臨海部に開発された「HAT 神戸」。県立美術館などと並ぶ一角に、震災のメモリアルセンターとなる「人と防災未来センター」があります。

2002年に「防災未来館」が開館、翌年には東側に「ひと未来館」が開館し、2010年からは「西館」「東館」と名称を変更しています。入館料金は、西館・東館の「共通」か「東館のみ」の2種類に分かれています。

初めての来館者は西館→東館が見学コースです。西館で「阪神・淡路大震災の教訓」を映像や展示を通して体験し、渡り廊下で東館に移動して、自然災害への備えや防災・減殺を学びます。

スタートの西館4階は震災追体験フロアです。震災発生当日の神戸に戻り地震による凄まじい破壊の様子を7分間、続いて復興までのまちと人の様子を15分間、シアター映像で体感できま



プレート運動が学べるテーブル。東館3階にある

す。3階と2階では震災の記憶を呼び起こすさまざまな実物資料、写真、ジオラマなどが展示され、備蓄グッズも紹介されています。語り部による体験談も聞けます。

東館は、風水害なども含めて自然災害全般に対する「防災」をテーマにしています。1階の「こころのシアター」では、15分間の作品「逃げよう」を1時間に3回上映し、災害遭遇時に取るべき行動をアニメ仕立てで紹介しています。3階の「BOSAIサイエンスフィールド」は、災害のメカニズムや避難行動を遊び感覚で体験できます。丁寧に見学すれば、両館を通して2時間はかかります。それでも、改めて「防災」の知識や備えの大切さを実感できる有意義な時間となります。

国際防災研究機関の同センターでは、常設展示のほか特別展示や講演などのイベントに取り組んでいます。毎年1月17日には震災犠牲者追悼行事「ひょうご安全の日のつどい」がセンター前の広場で開かれます。

センター東館の東隣、JICA 関西 1



人と防災未来センターの外観、手前は西館、左隣が東館

階の食堂では月替わりのエスニック料理(740円)が好評です。9月はウズベキスタン料理が味わえます。



8月のエスニック料理はパキスタン料理

お出かけちょっとメモ

▶ 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター＝神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(HAT 神戸内)。開館時間は9時半～17時半。ただし7～9月は18時まで、金・土曜は通年19時まで(いずれも入館は閉館の1時間前まで)。月曜休館。入館料は西館・東館共通が大人600円(450円)、大学生450円、高校生以下無料。東館のみが大人300円(200円)、大学生200円、高校生以下無料。()内は当協会友の会会員料金。毎月17日は無料。阪神岩屋駅、春日野道駅から徒歩約10分、JR灘駅から徒歩約12分、阪急王子公園駅から徒歩約20分。☎078-262-5050

▶ JICA 関西食堂＝神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2。ランチ11時半～14時、ディナー17時半～21時。年中無休(年末年始を除く)。☎078-261-0341

読者プレゼント

人と防災未来センターの招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。9月12日(火)必着。

兵庫 テロワール 旅 TERROIR JOURNEY



榎倉香郵遺墨展 - あくがれへの旅路 香郵の求めた書 -



あくがれ 2017年 (帝京大学書道研究所蔵)

生誕100年に合わせ、榎倉の追い求めた「あくがれ」の世界を紐解きます。大勢の方々にご来場いただきたく、ご案内いたします。

期 日：令和5年10月7日(土)～9日(月・祝)
10時開展～17時30分閉展(最終日は16時閉展)
会 場：兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー(脇浜海岸通り)
主 催：書道香環会
後 援：兵庫県・加東市・(公社)日本書芸院・兵庫県書作家協会
読売新聞社・神戸新聞社



写真提供 芸術新聞社 (撮影：古谷敏之)